



認知症 早期対応ガイド

《頓宮美津子》  
防災について

**問** 災害時の自助・共助・協働の担い手となる防災士の資格取得について、県の補助金を活用するために総社市でも補助をしてはどうか。

**答** 自主防災組織の補助金の見直しに伴い検討したい。(市長)

**問** 幼稚園や保育所で、ボランティアで防災教育を実施し

ている団体がある。総社でも早いうちに実施してはどうか。

**答** 東日本大震災の際にも「釜石の奇蹟」のような、防災教育は重要であった。是非検討したい。(教育長)

認知症対策について

**問** 認知症対策として、認知症に対する知識を広めること、早期発見早期治療が不可欠である。そこで、認知症が気軽にチェックできたり、県の相

談センターの窓口等が記載されたりしたパンフレット等を作ってはどうか。

**答** 総社市流の物を是非作って参りたい。(市長)

教育行政について

**問** 暴力防止・不登校対策としてアメリカで開発された暴力防止プログラム「CAP」を是非導入してはどうか。

**答** 学校の事情に合わせて導入を考えたい。(教育長)

《赤澤康宏》  
市の土地借上げについて

**問** 市が現在借りている土地の契約状況と、今後の考え方はどうか。契約の見直しはできないのか。

**答** 大小22か所借りている。各担当課では、年度替りに借地の交渉を行っている。今後は、財政を見据えながら、購入も含め慎重に見て、結果等を報告する。(市長)

障がい者  
千人雇用について

**問** 全ての障がい者を就労させようと考えているのか。現状をどう判断しているのか。

**答** 千人雇用に伴い作業所が増え、障がいのある方々には良い傾向だが、作業所の責任者は、個々の能力に合った作業内容と当事者の引き抜きをしない等、節度ある対応を望んでいる。(市長)

そうじや吉備路  
マラソンについて

**問** 教育委員会生涯学習課の担当であるが、市長部局に移すか、マラソン課を作れないか。

**答** 大会が大規模になるにつれ、課で行う本来の仕事が手薄になっている。議会と相談して、市長部局に移すなり、マラソン課(仮称)を作る。(市長)



作業の様子

《根馬和子》  
通学路の交通安全対策は

**問** 最近、モラルを欠いた事故が多発しているが、通学路の安全は確保されているか。

**答** 緊急合同会議や安全点検等を行い、改善や改修を出来る所から行いたい。(市長)

**問** 過去5年間の事故・事件にはどのようなものがあるか。

**答** 事故61件、声かけや付きまとい23件で、そのうち自転車



車道と歩道が分離されている通学路

《丹下茂》  
防災問題について

**問** 防災・減災に対する啓発活動、老朽化した構築物への対応、災害復旧活動の協力業者の取組についてどのようにしていくのか。

**答** 災害に想定外はなく、考えられる全てについてハードルの高いハザードマップを製作し、日常の啓発・訓練等で意識を高めていく。老朽化し



老朽化した橋

た橋等については、財政の許す限り整備していく。また、災害対応に向けては、行政は

車事故が74%だ。(教育長)

**問** 過去3年間の安全整備の要望と実態はどうか。

**答** 180件に対し118件で、65・5%だ。(教育長)

市民サービスについて

**問** 県下14市の調査では、時間外開庁を8市が行い、土日限定開庁は7市だがどう思うか。

**答** 市民と接するカウンターで気持ちの良い接客を目指す。

孤立死の問題について

**問** 現状把握と見守り対策はどのようなになっているのか。

**答** 現在、地域コミュニティ、民生委員、消防団などによって見守りをしていただいているが、それ以外にも郵便配達員、電気・ガス等の検針員な

どに声かけをお願いするなどして幅広く見守りが出来るようにしていく。(市長)

老朽化した  
空き家対策について

**問** 老朽化した空き家が増加しているが、安全性などの対策はどうしていくのか。

**答** 現在、対策において手詰まり状態であり、所有者や縁故者の方に誠意をもってお願いしていくしかない。(市長)